
赤潮注意報解除(シャットネラ マリーナ)

鹿児島県水産技術開発センター
 令和5年9月29日

鹿児島湾 赤潮情報 No.4

[1] 9月29日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡ではシャットネラ マリーナは確認されませんでした。
 濃縮検鏡では調査地点③で同種が0.002細胞/mL確認されました。
 珪藻類は調査地点⑩で多く、⑤、⑥でやや多く、他はやや少ない～少ない状況でした。

(2) 海況

平年値と比べ、表層水温は平年並みで、湾奥部で27.3～28.3℃、湾中部で27.1～27.7℃、塩分は平年並みで30.0～32.0、透明度はやや高く6.0～14.5mとなっています。
 水温：平均 27.8℃ 湾奥部 27.9℃ 湾中部 27.5℃
 塩分：平均 31.2 湾奥部 30.9 湾中部 32.0
 透明度：平均 8.3m 湾奥部 7.1m 湾中部 12.1m
 (平年値は平成元年～令和4年の9月の平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想

【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島湾赤潮調査結果
 調査日：2023.9.29(金) 大潮
 天候：晴れ
 調査時間：7:20～11:45

赤潮注意報解除

- ・通常検鏡でシャットネラ マリーナは確認されず。
- ・濃縮検鏡でシャットネラ属を確認 (St.③)
- ・珪藻類はSt.⑩で多く、St.⑤、⑥でやや多く、他はやや少ない～少ない。

※は表層海水を濃縮検鏡(1000倍)した調査地点

・平均表層水温：平均 27.8℃ (平年比+0.3℃, 平年並み) (湾奥27.9℃ 湾中27.5℃)
 ・平均表層塩分：平均 31.2 (平年比+0.4, 平年並み) (湾奥30.9 湾中32.0)
 ・平均 透明度：平均 8.3m (平年比+1.3m, やや高め) (湾奥 7.1m 湾中12.1m)
 ●平年値は平成元年～令和4年の9月の平均値

鹿児島県水産技術開発センター

鹿児島湾では、7月13日にシャットネラ マリーナの赤潮注意報を発出していましたが、本日の調査において、通常検鏡では全ての調査地点で確認されなかったことから、赤潮注意報(シャットネラ マリーナ)は解除します。

なお、各漁協・養殖業者におかれましては、今後も有害赤潮プランクトンの早期発見のため、定期的な検鏡を継続するなど、監視をお願いします。

※シャットネラ マリーナの
 特徴

- ・適水温23～26℃、
 適塩分30以下
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで、約2,000細胞/mL

(次回調査は10月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

